

学校教育目標		人間性豊かに たくましく生きる 大湊の子の育成 ～いきいき・あったか・きらっと～		研究主題	主体的に学びに向かう児童の育成 ～個々の伸長と協働的な学びをめざして～		
大項目	中項目	評価指標	取組状況・成果・課題		評価	改善策	学校関係者評価
学 力 向 上	(1)規範意識の育成	①全ての学級で月目標を意識した児童の自己指導能力を伸ばす「規範意識」の肯定的評価88%以上。 ②保護者「規範意識」肯定的評価90%以上。					
	(2)授業改善	①「学習意欲」(Q-U) 肯定的評価90%以上。 ②各学力調査、全国比＋1.0P以上。全学調：D層の割合全国平均以下。 ③「ICT 機器活用(協働)」肯定的評価全国平均以上。 ④振り返り(学びのダムタイム) 及び評価の工夫 教員評価100%					
	(3)家庭学習	①「家で自分で計画を立てて勉強している」(児童)県平均以上。 ②家庭学習の提出率90%以上。 ③デジタル教材を効果的に活用し、「家庭学習」(保護者)項目肯定的評価90%以上。					
	(4)英語教育の推進	①英語意識調査肯定的評価90%以上。 ②技能別英検ESG CSEスコア(6年生) 平均80P以上。 ③英語の「聞くこと」「読むこと」小学校卒業時の目標達成100%。	中学校区で連携した英語研究を推進し、ALT・英語支援員と協働した授業改善を図った。 ①英語意識調査肯定的評価87.5%、評価指数を達成できていない。 ②技能別英検ESG CSEスコア(6年生) 平均60.8%。 ③英語の「聞くこと」「読むこと」小学校卒業時の目標達成33.3%。		C	◇中学校ブロックで香南中、日章小と連携しながら、英語教育の充実のための研究を続けていく。本年度、空港にて3・4年生が外国の方に英語でインタビューをすることができた。英語力・コミュニケーション力を高める良い機会となった。総合的な学習の時間と絡めて英語教育を推進し、スコアの向上を目指す。	○今後も中学校区ブロックで英語教育の充実のための研究を実施し、児童の英語力の向上に努めてもらいたい。高知空港で行った英語でのインタビュー体験は児童の英語教育にとって生きた学習になり、将来に役立つと思うので今後も続けていってはどうか。

(A:目標を上回った B:ほぼ目標どおり C:目標を達成できなかった)